

# グローバルニッチトップ企業100選の 講評について

平成26年3月17日  
選定評価委員会委員長  
沼上 幹

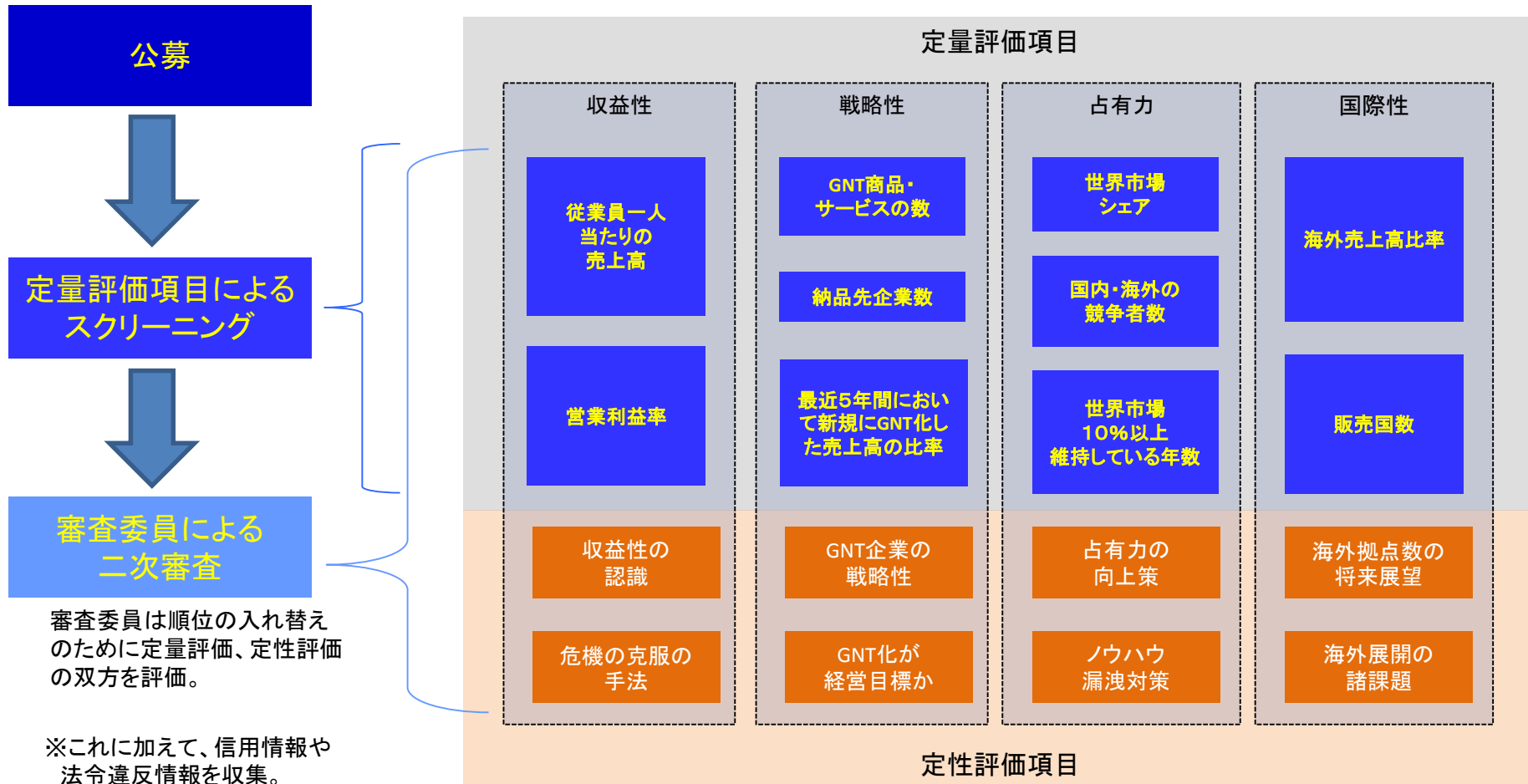
# もくじ

1. 選考の経緯
2. GNT企業の戦略的特徴
3. GNT企業の課題

# 1. 選考の経緯

# GNT100選の選定の流れ

- まず、公募を実施。281件の応募あり。
- 次に、定量評価項目に書き込まれた数値を点数化し、スクリーニングを実施。
- 委員はスクリーニング結果を踏まえて、順位の入れ替えのための二次審査を実施。



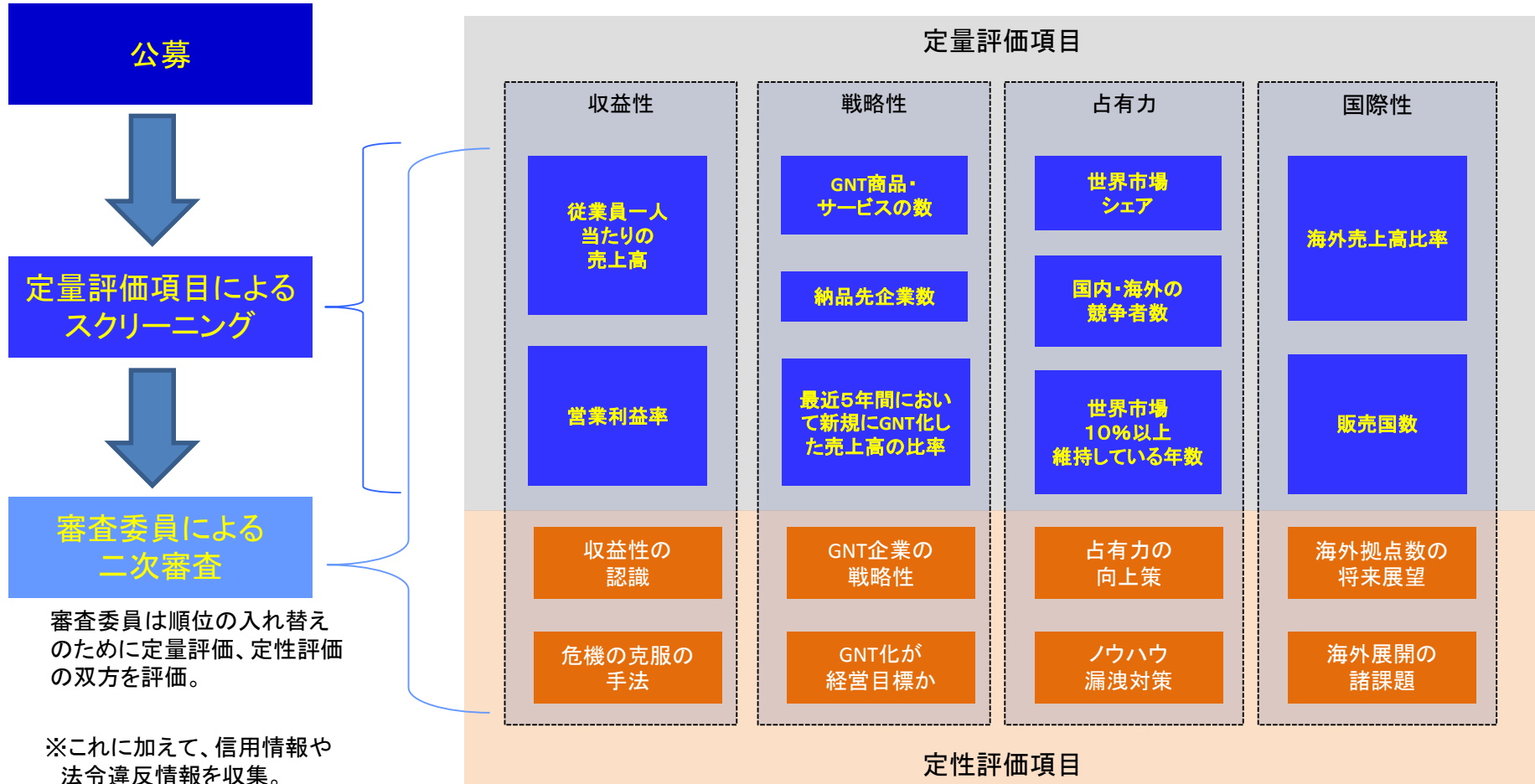
# GNT企業の選定結果

	分野	大企業	中堅企業	中小企業
GNT	機械・加工	2(7)	8(20)	42(108)
	素材・化学	1(5)	10(19)	9(25)
	電気・電子	1(2)	4(9)	10(31)
	消費財・その他	2(2)	3(4)	8(28)
ネクストGNT	機械・加工	0(0)	0(1)	4(13)
	素材・化学	0(1)	0(0)	1(2)
	電気・電子	0(0)	0(0)	2(3)
	消費財・その他	0(0)	0(0)	0(1)
合計		GNT枠 : 6(16) ネクスト枠 : 0(1) 計 : 6 / 17	GNT枠 : 25(52) ネクスト枠 : 0(1) 計 : 25 / 53	GNT枠 : 69(192) ネクスト枠 : 7(19) 計 : 76 / 211

※括弧内は応募件数。

# GNT100選の選定の流れ

- まず、公募を実施。281件の応募あり。
- 次に、定量評価項目に書き込まれた数値を点数化し、スクリーニングを実施。
- 委員はスクリーニング結果を踏まえて、順位の入れ替えのための二次審査を実施。



「定量評価による実力勝負」と「経営の質の高さ」

## 2. GNT企業の戦略的特徴

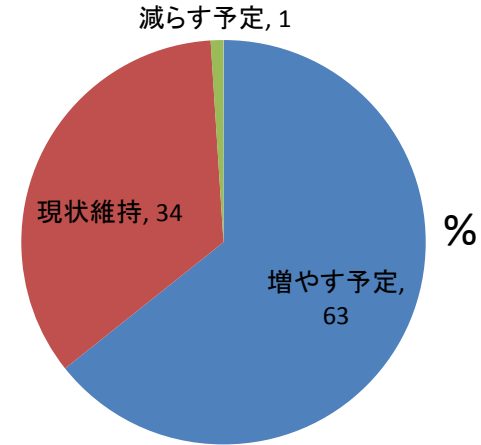
# GNT企業の哲学と戦略 — その1 グローバル志向

## ①GNT企業の「グローバル指向」

- ・グローバル市場で競争することが経営の目標になっている企業が100%。
- ・中には、GNTを超えて、グローバルトップ企業を目指している企業も。
- ・海外売上高比率(平均) = 45%
- ・販売国数(平均) = 36カ国

## ②GNT企業の拡大志向(海外拠点数)

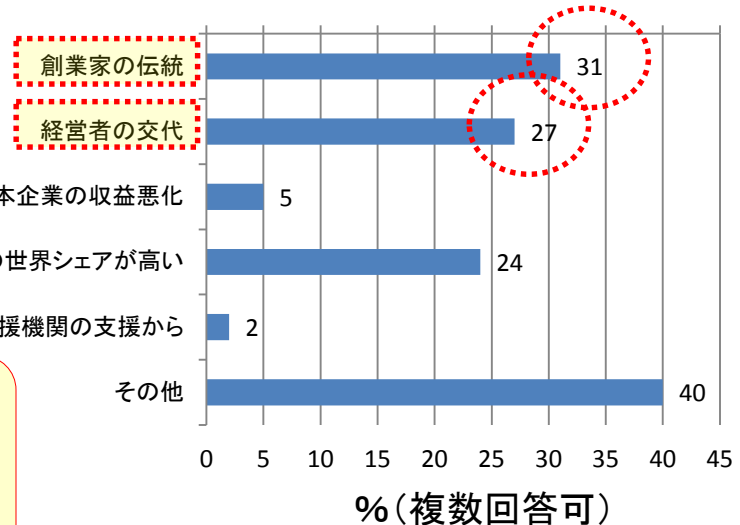
- ・海外拠点についても増やす志向が強い。



## ③グローバル市場を狙うようになったきっかけ

- ・グローバル市場を狙うきっかけ = トップの意識が重要

- (1) 創業者・創業家の考え
- (2) 経営者の交代



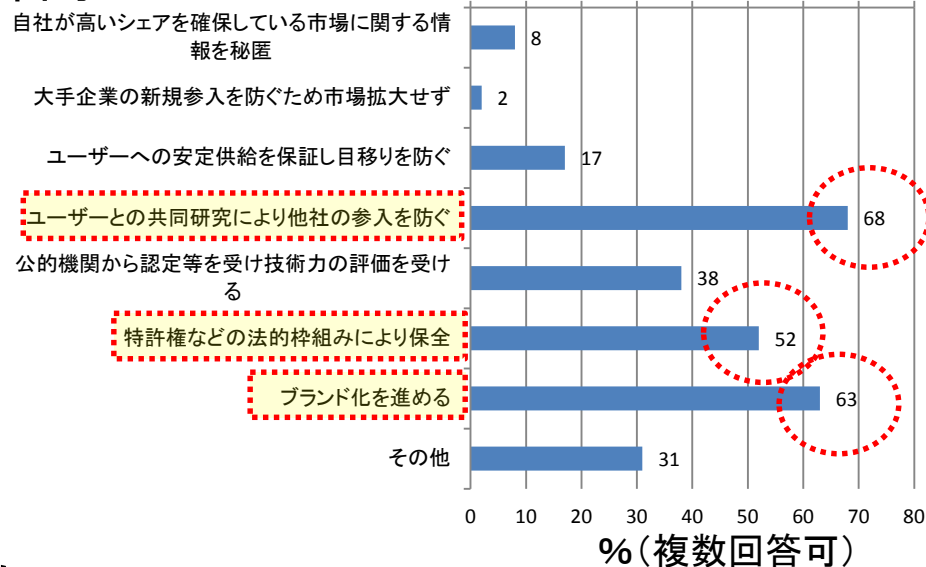
- ・**トップのイニシアティブ・リーダーシップ**
- ・**海外需要を能動的にとりに行く能動的企業**



# GNT企業の哲学と戦略 — その2 競争の戦略

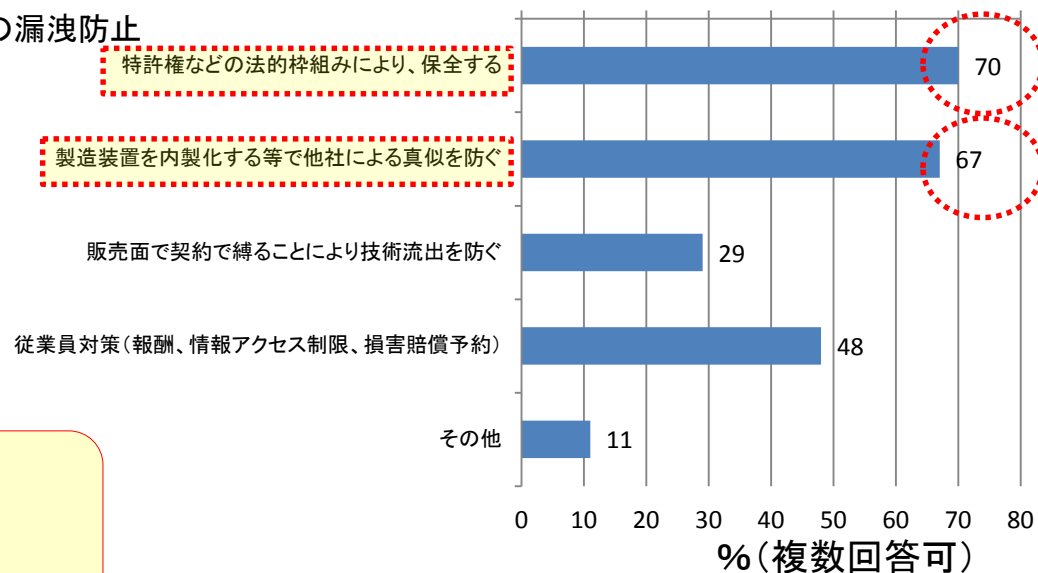
## ①GNT企業のシェア拡大・持続のための哲学

・ユーザーとの研究開発、ブランド化、知財保全を重要視。



## ②シェア持続のための具体的な取り組み

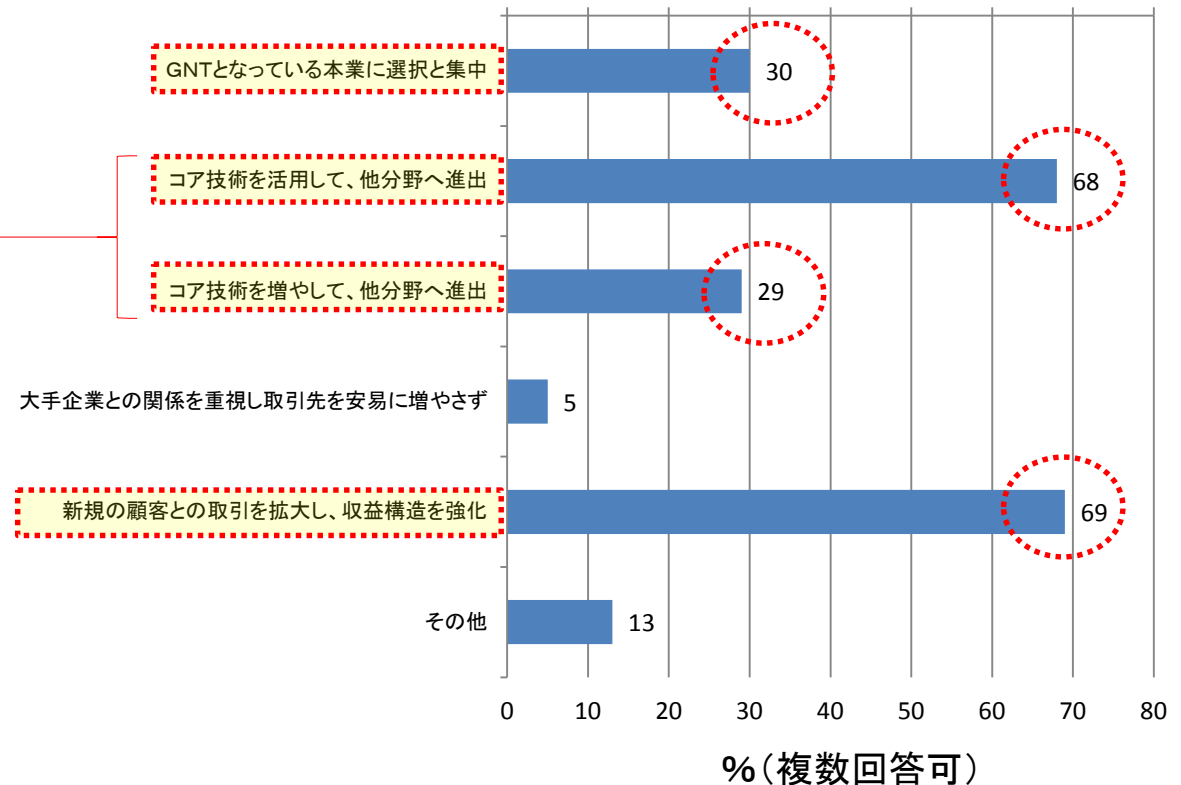
・知財保護のほか、製造装置の内製化によるノウハウの漏洩防止や従業員への対策を講じている。



- (1)ユーザーとの共同, 製造装置内製化
- (2)法的な対策, ブランド化

## ①GNT企業の拡大志向

- ・コア技術の転用だけでなく、コア技術を増やす傾向が強い。
- ・特定企業との取引に安住せず、新規顧客を積極的に拡大。

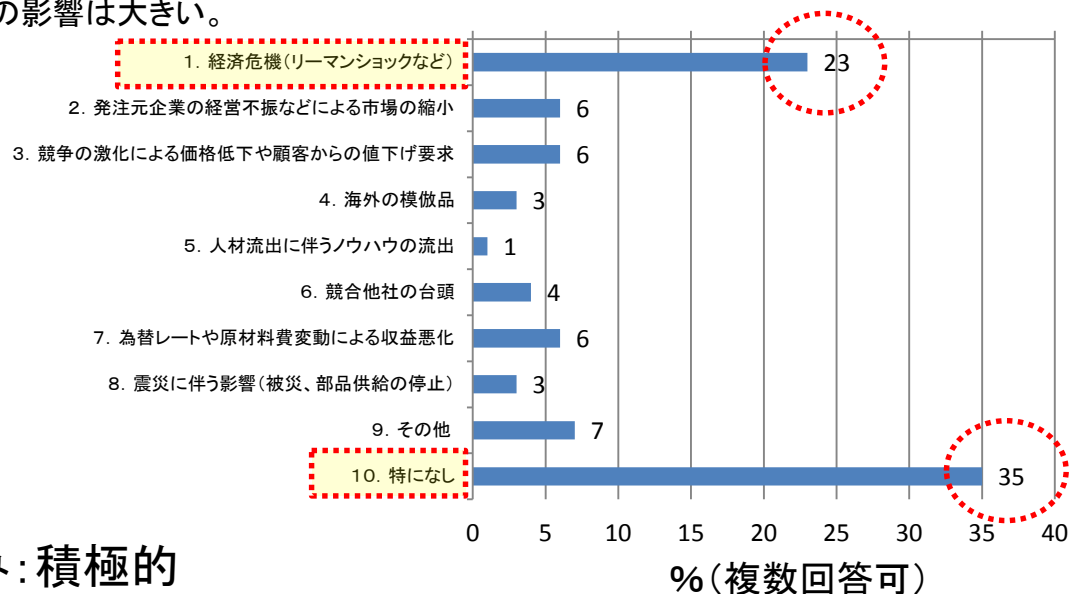


- ・本業を重視するも、  
(1)能動的な顧客開拓, 新分野開発, 新技術開発  
(2)コア技術を大切にする志向性

# GNT企業の哲学と戦略 — その4 危機への対処

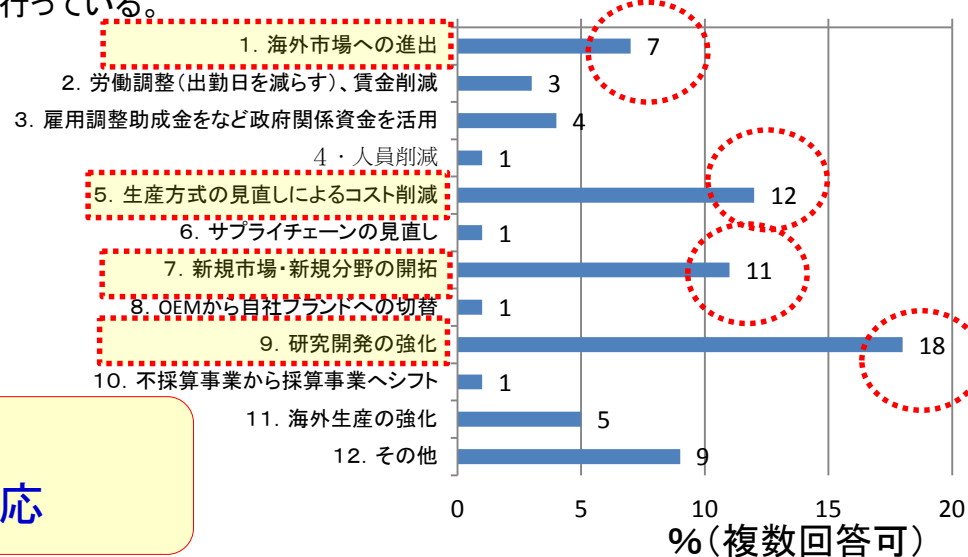
## ①GNT企業となった後に発生した経営危機

- ・内容は多様であるが、リーマンショック等の経済危機の影響は大きい。
- ・しかし、「特になし」が多い



## ②経営危機に対する具体的な取り組み:積極的

- ・研究開発の強化、コスト削減、新規市場・分野の開拓を行っている。

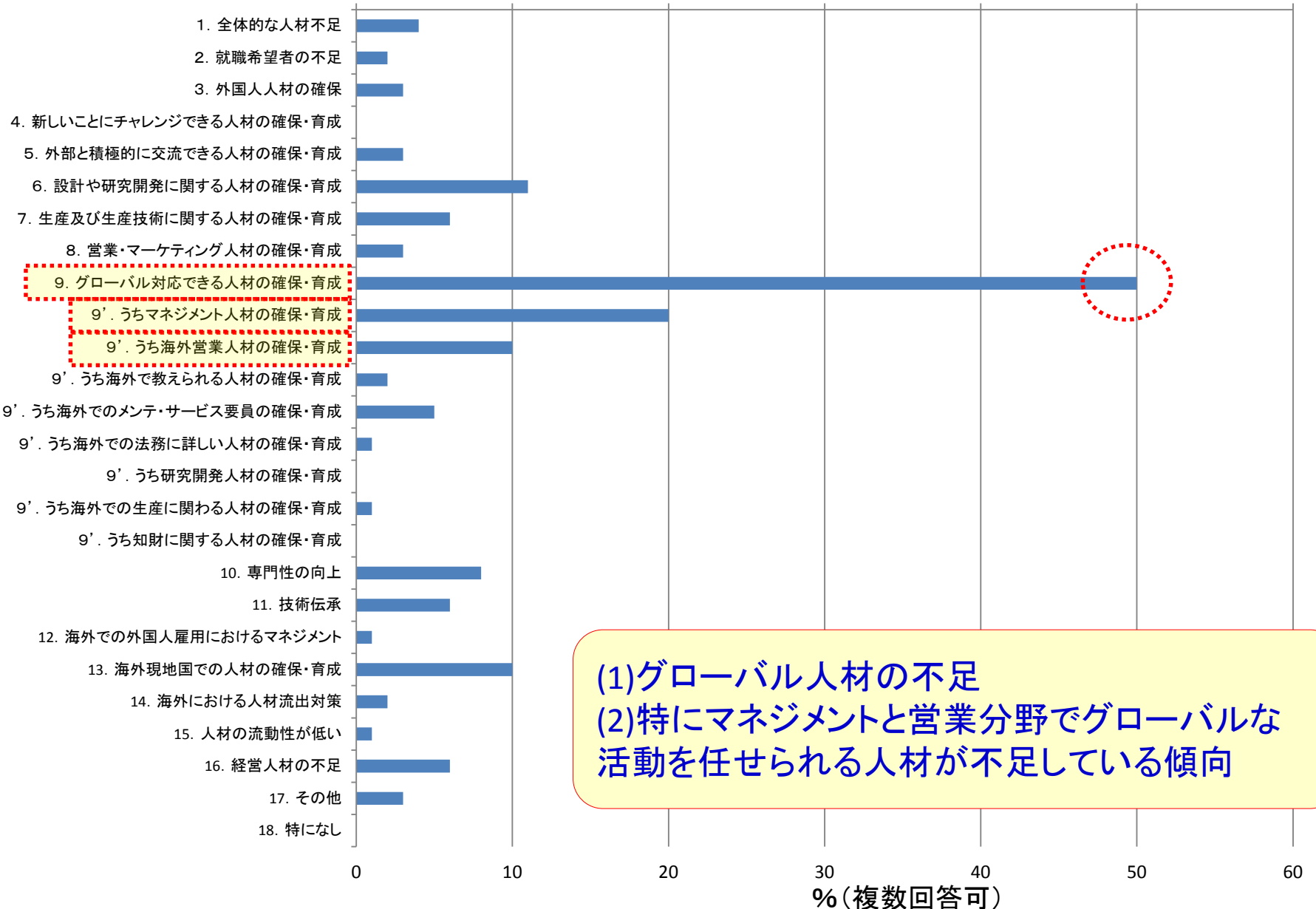


- ・経済危機のショックは受けるものの、
- ・前向きな積極策による先取りの危機対応

# 3. GNT企業の課題

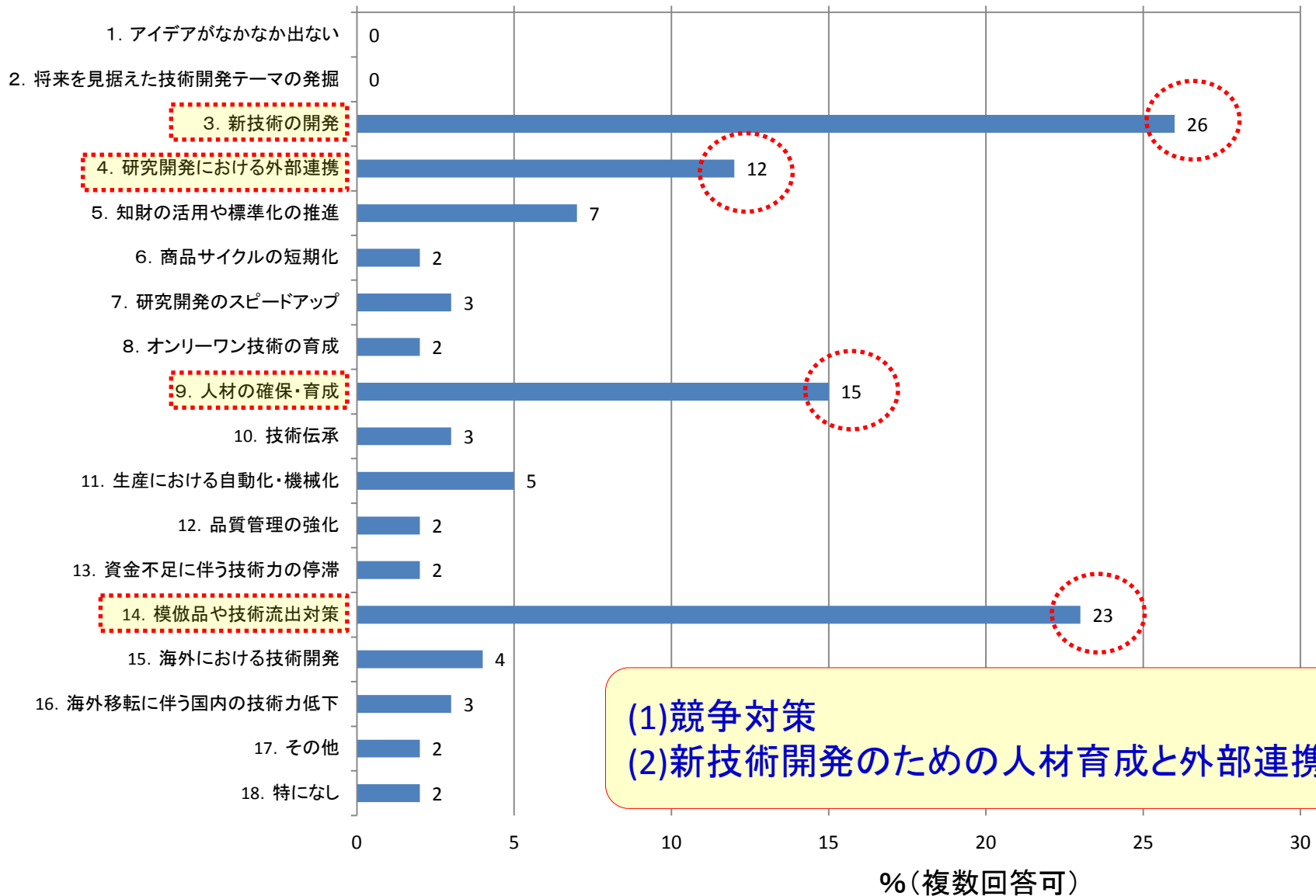
# GNT企業の主な課題 その1 人材

## ①人材面の課題ーグローバル人材の確保が課題



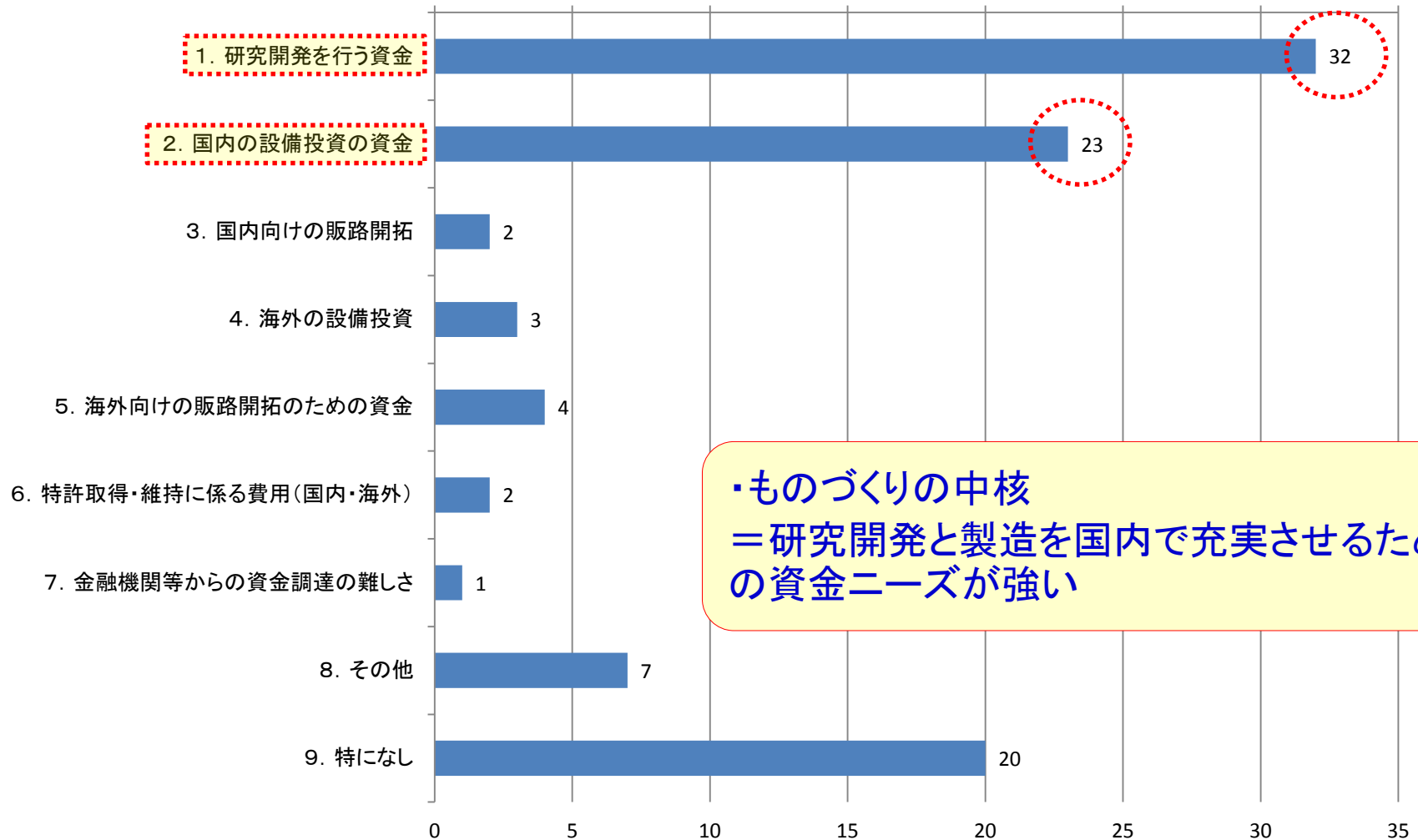
# GNT企業の主な課題 その2 技術面の課題

## ②技術面の課題—新技術、模倣品対策 人材育成、外部連携が課題



# GNT企業の主な課題 その3 資金面の課題

## ③資金面の課題－研究開発、設備投資資金にニーズ

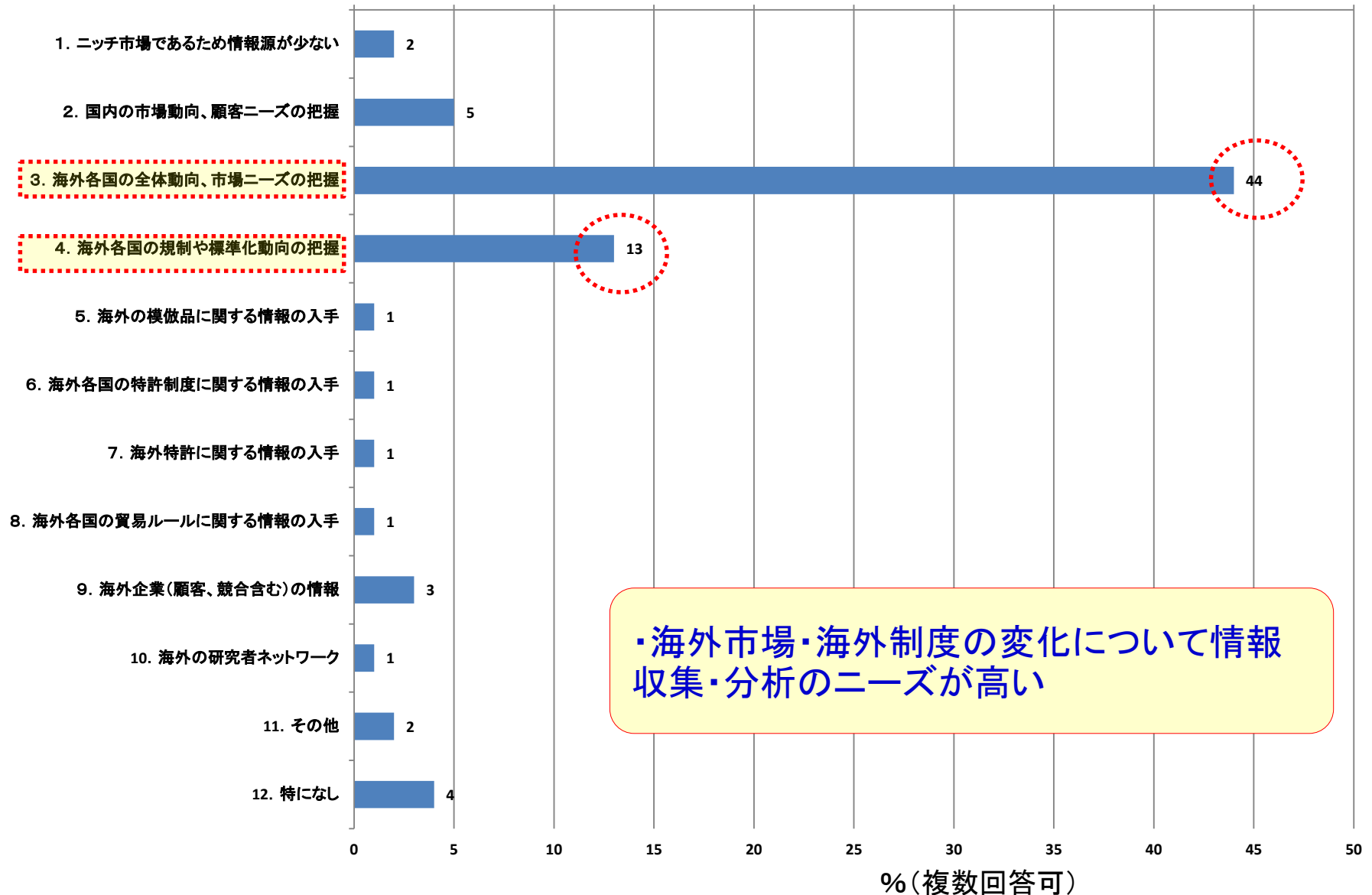


・ものづくりの中核  
＝研究開発と製造を国内で充実させるための  
資金ニーズが強い

%(複数回答可)

# GNT企業の主な課題 その4 海外情報に関する課題

## ④情報面の課題ー海外の市場動向、規制や標準にニーズ





- 人材不足：
  - 特にグローバルな事業環境に対応するための経営管理者と営業の育成強化
- 技術開発：
  - 国内のものづくりの基盤＝研究開発と設備投資の資金調達支援
  - 大学や他企業とのネットワークを活用した研究開発活動の活性化
  - 開発人材の育成・流動化
- 海外情報：
  - 市場の情報や規制・制度の情報の提供・基盤の整備

ご静聴, どうもありがとうございました.

# GNT100選における「グローバルニッチトップ企業」

## グローバルニッチトップ企業の定義

- 大企業 ……特定の商品・サービスの世界市場の規模が**100～1000億円程度**であって、過去3年以内において1年でも、**20%以上の世界シェア**を確保したことがあるもの。
- 中堅企業 ……特定の商品・サービスについて、過去3年以内において1年でも、**10%以上の世界シェア**を確保したことがあるものを対象とします。  
※中堅企業とは、大企業のうち、直近の会計年度の売上高が1000億円以下であるもの。
- 中小企業者 ……特定の商品・サービスについて、過去3年以内において1年でも、**10%以上の世界シェア**を確保したことがあるものを対象とします。

## グローバルニッチトップ企業100選において重視した点

- (1)シェアと利益の両立 ……グローバルシェアだけでなく、**利益水準(営業利益)**を確保している企業を評価の対象に。
- (2)独創性と自立性 ……特定のサプライチェーンに依存している企業ではなく、**より多くの企業、より多くの国に供給**することを通じ、自社の自立性を高め、世界の生産活動に不可欠な企業を評価の対象に。
- (3)代替リスクへの対処 ……GNT企業のリスクとして、他分野の技術による代替や他業者の参入の増加が上げられる。このため、**GNT製品・サービスを増やしている点**を評価の対象とし、単純な「選択と集中」を行っている企業は積極的に評価しない。
- (4)シェアの持続性 ……競争激化により、製造業の多くではシェアを維持・拡大するのが容易ではない。このため、**世界シェアを確保している期間の長さ**を評価の対象に。